

議会 ICT 推進委員会会議録（要点筆記）

令和7年1月14日（火）
午後2時45分 開会
場所 オンライン会議

○山田清一委員長

ただ今から、議会 ICT 推進委員会を開催します。

本日は、オンライン会議形式で行います。

音声や操作など、何か不具合が生じましたら、その都度対応いたします。

進行のルールですが、

①発言する時は音声のミュートモードを解除し、「委員長、（氏名）」の発言と併せて、タブレットの画面に手のひらを映して発言の意思を示してください。

②発言終了後は、音声をミュートモードに戻してください。

③複数の委員が同時に挙手した場合は、委員長が指名した委員から発言します。その際、指名されなかった委員は、音声をミュートモードに戻してください。

④賛否の確認は、賛成は画面に手のひらを映し、反対は画面に「×」のサインを映してください。

このように進めますので、よろしくお願いします。

それでは、協議題1「議会に係る手続等のオンライン化・デジタル化の具体的方法について」を議題とします。

議会運営委員会からの申し送り一覧のうち、まだ協議ができていない「市民など外部の人が関わる手続」と「議会内部の手続」についてですが、これらの手続方法については、次回委員会までに正副委員長と事務局で整理を行い、その内容を皆さまにお諮りする形で進めたいと考えますが、いかがでしょうか。

賛否の確認を行います。賛成の方は画面に手のひらを映してください。反対の方は画面に「×」のサインを映してください。

【全員賛成を確認】

ありがとうございます。全員賛成でしたので、このように進めさせていただきます。

ほかに、何か発言などありましたらお願いします。

【発言の意思表示なし】

ないようですので、この件はこれで終わります。

次に、協議題2「その他」の（1）オンライン会議の課題についてを議題とします。

本日は、自宅などからオンライン会議システムにご自身でログインし、指定の時間入室いただきました。オンライン会議の接続状況や各委員の会議場所の環境、その他の課題について、感じたことがあれば順番にご意見をお願いします。

○石川英之委員

オンラインで参加する場合の意思表示の方法についてですが、賛否の確認では、賛成の委員は手のひらを画面に映すことになっています。同じタイミングに発言の意思表示をしてしまった場合、サインが重なってしまう可能性があるため、別の方法を考えてはいかがでしょうか。

○山田清一委員長

賛成の意思表示と発言の意思表示が同じで分かりにくいとの意見がありました。

発言を希望する場合は、これまでどおり手のひらを画面に映すこととし、賛成の意思表示については、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」のサインを画面に表示する方法はい

かがでしょうか。

○中村和也委員

意思表示については、AI アシスタントやチャット機能を活用するのはいかがでしょうか。

AI アシスタントでは、挙手のマーク、良いねのマークなどがあります。チャットの機能では、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」を書き込む方法があります。

○山田清一委員長

その二つの機能を使って、意思表示の操作確認を行ってみたいと思います。

しばらく休憩します。

午後2時50分 休憩

午後3時12分 再開

○山田清一委員長

会議を再開します。

賛否の表示方法ですが、画面に「○」や「×」のサインを映す方法とチャットで賛否を入力する方法の2通りがあります。今後の運用はどちらが適切でしょうか。ご意見をお願いします。

○國弘秀之委員

画面で見る方法が良いと思います。チャットの方法も理解はできますが、誰が賛成で誰が反対かが一目でわからないと思います。画面で「○」や「×」のサインを表示すれば、誰がどちらに賛成しているかが一目でわかるので、その方が良いと思います。

○中村和也委員

オンラインで参加する委員の人数によって、賛否の確認方法は変わると思います。10名程度のオンライン参加であれば、全員が画面で確認できますので「○」や「×」の方法で一目で確認できます。しかし、人数が10名以上になると、参加者全員が画面に収まらなくなりますので、その場合はチャットという手法が効率的だと考えます。

○石川英之委員

画面レイアウトの変更で、「グリッド」表示にすると、参加者全員が表示されます。オンライン参加が20名の場合など、画面は小さくはなりますが、「○」や「×」のサインは確認できると思います。

○山本裕介副委員長

オンライン参加者が多いことを想定して、チャットにどの議題に対する表決かを入力すると、よりわかりやすくなると思います。

○山田清一委員長

さまざまな方法を試してみましたが、どの方法が適切かを判断するのは難しいところです。今日は、試しにチャットで賛否を入力する方法で進めたいと思います。ほかに発言がありましたらお願いします。

○國弘秀之委員

現在、タブレットの画面にはオンライン会議が映されているため、SideBooksにある会議資料を閲覧することができません。タブレットで二つのアプリを開くことはできるのでし

うか。

○中村和也委員

タブレットの Split View を使うと二つのアプリを左右に並べて開くことができます。ただし、それぞれの画面が小さくなるため、資料の閲覧は見づらくなると思います。私は、自分のパソコンで SideBooks を開いて資料を確認し、タブレットではオンライン会議の画面を映しています。

○山田清一委員長

資料の閲覧方法については、もう 1 台パソコンやタブレットを準備するなど、各委員で解決方法を検討することができると思います。しかし、國弘委員からご指摘をいただいた画面分割の方法については、今後、わかりやすく示させていただきます。

○石川英之委員

会議中に委員長が事務局と何か確認をするときは、音声をミュートにしているかと思いますが、ミュート中に委員長が口パクで話していると、何か発言されているのではないかと心配になります。そのため、委員長は常にミュートを解除した状態で参加いただけますか。

○山田清一委員長

石川委員からご指摘をいただいた委員長の音声につてですが、オンライン委員会においては、皆さまに誤解を与えないようにする必要がありますので、委員長の音声は常にミュート解除の状態とさせていただきたいと思います。

このことについて、賛否の確認を行います。

【委員長はチャットに「委員長（管理者）のパソコンはミュートにしないということでしょうか。」を打ち込む】

【全員「○」で賛成の返信あり】

○山田清一委員長

それでは、オンライン委員会中の委員長の音声は常にミュート解除の状態とさせていただきます。

今日いただいたご意見や課題については、オンライン委員会のマニュアルなどに整理できるよう、検討していきます。

ほかに発言がありましたらお願いします。

【発言の意思表示なし】

ないようですので、この件については終わります。

次に、（２）「タブレットの有効活用について」を議題とします。

今期の議会 ICT 推進委員会は 5 月の上旬までありますので、タブレットの有効活用についても今後協議を進めていきたいと考えています。本日はその旨をお伝えします。

他に委員の皆さまからご発言がありましたらお願いします。

【発言の意思表示なし】

皆さんからのご意見は特にないようですので、本日の委員会はこれで閉会します。

午後 3 時 16 分 閉会